

## プリンストン大学生との交流セッション募集要項

2024.5

### 【注意事項】

募集に関する情報・応募書類等は一部変更される場合があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合もある。よって、最新情報を必ず次のウェブサイトを確認すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/index.html>

### 1. 概要

このセッションはプリンストン大学の学生と交流し、相互理解と親睦を深めることを目的とする。内容は以下を予定している：

- (1) Campus tour by UTokyo students and welcome party
- (2) Film and discussion night with Princeton students
- (3) Students' dialogue with President Teruo Fujii
- (4) Farewell party

プリンストン大学の学生とさまざまな話をして、お互いの理解を深めることで「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力」である国際総合力を向上させることが狙い。また、希望者は、本学においてプリンストン大学が実施している同大学の学生向け授業（英語）を聴講することもできる。

(※) このセッションは、全日程を本郷キャンパスで実施する。また、一部のセッションにはコロンビア大学の学生も参加予定。

### 2. セッション実施日

6月17日（月）、6月19日（水）、6月24日（月）、7月3日（水）

※すべての日程への参加が必要。

- ① 6月17日（月）16時～17時 キャンパスツアー
- ② 6月17日（月）17時～19時 ウェルカムパーティー
- ③ 6月19日（水）17時～20時 Film night
- ④ 6月24日（月）17時～18時 Dialogue at UTokyo GlobE #9～東京大学総長との対談～
- ⑤ 7月3日（水）18時～20時 フェアウェルパーティー

(参考) プリンストン大学の講義期間（参加任意）：2024年6月17日（月）～7月4日（木）

※詳細は別添1のスケジュールを確認すること。

### 3. 募集人数

学部学生 15 名程度

\*国際総合力認定制度 Go Global Gateway (GGG) に登録し、Go Global Statement を提出している学部学生 (2018 年 4 月以降入学の学部学生のみ対象)。

### 4. 費用

本セッション参加にかかる費用の個人負担はなし。

### 5. 単位等

プリンストン大学による講義を聴講した場合においても単位は付与されない。

### 6. 学内募集からセッション終了後までのスケジュール (予定)

5 月 16 日(木)17 時	Go Global Statement 提出と学内応募 締切
5 月下旬	学内選考・結果通知
6 月 17 日(月)~7 月 4 日(木)	セッションの実施
7 月下旬	事後アンケート、GGG アクティビティレポート 提出締切

※本セッションは東京大学本郷キャンパスで実施する。

### 7. 応募資格・要件

以下の要件をすべて満たすこと。

(1)国際総合力認定制度 Go Global Gateway (GGG) に登録し、Go Global Statement を提出している学部学生 (2018 年 4 月以降入学の学部学生のみ対象) であること。

(2)中級以上の英語能力 (Common European Framework of Reference for Languages (CEFR※)の B1~B2 レベル) を持っていること。

※文部科学省 (各資格・検定試験と CEFR との対照表) :

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/\\_icsFiles/afielldfile/2018/07/27/1407616\\_003.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/_icsFiles/afielldfile/2018/07/27/1407616_003.pdf)

(3)応募時及びセッション参加期間を通じて、本学の学部正規課程に在学していること (セッション期間中に休学中の者や卒業等により本学学籍を失う者は参加できない)。

(4)本セッションに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、指定された全日程への参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの参加可能人数には上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の機会を失うことにつながるため、応募後の辞退は原則として認められない。

(5)所属学部において、本セッションへの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなること、また、欠席による追試験の申請理由

にもならないことを理解すること。なお、詳細は所属学部を確認すること。聴講を希望するプリンストン大学の講義と自身が履修する本学の授業が同時間帯に実施される場合は、必ず本学で履修する授業に出席すること。

- (6)本セッション参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本セッションに応募することを事前に報告し、了承を得た上で応募すること。
- (7)異文化体験や交流に興味を持っており、海外大学の授業の聴講、英語学習などへの意欲があること。

#### 8. 応募方法・応募書類

- ・応募は以下のリンク先のフォームから申し込みを行う。

<https://forms.gle/PBeDvVzuLswRwasJ8>

(ECCS クラウドメールへのログインが必要)

#### 9. 応募締切

2024年5月16日(木) 17時

#### 10. 学内選考

- (1)応募者多数の場合は、書類選考を行う。
- (2)採択結果は5月下旬に、応募フォームに登録した電子メールアドレスへ通知する。
- (3)採択結果等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は応募フォームに登録した電子メールアドレスを定期的に確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。

#### 11. 学内選考通過～セッション参加の際の留意事項

- (1)セッションへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡して伝えておくこと。
- (2)参加必須の交流イベント全てに必ず参加すること。
- (3)万が一、やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際教育推進課国際総合力認定制度担当 (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に連絡すること。
- (4)セッション中に動画や写真の撮影があること、将来それらが国際総合力認定制度における広報素材として、また本学における教育素材として使用される可能性があることを予め了承すること。

#### 12. 参加後の報告等

- (1)参加学生は、7月下旬に事後アンケートおよび国際総合力認定制度 Go Global Gateway

のアクティビティレポートを提出すること（提出するレポートのカテゴリーは「2. 授業・コース」もしくは「4. 国際交流活動」とすること）。締め切りはセッション参加者に指示する。

- (2) 応募フォームに記入した住所や電話番号・電子メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課国際総合力認定制度担当 ([go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)) へ連絡すること。プログラム終了後も必要事項の連絡の際に必要となるので、留意すること。
- (3) 参加学生には、セッション参加後、本学の国際化に関する業務への協力（学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

### 13. 問い合わせ先

※電子メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・学籍番号・所属・学年・電話番号を明記すること。

本部国際教育推進課国際総合力認定制度担当 ([go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp))

(参考) プリンストン大学の講義シラバス (抜粋)

※詳細はセッション参加者にあらかじめ案内予定

(別添 1)

## Contemporary Japan and China

### Main Instructors:

Japan: James Raymo

### Seminar Description:

“An important step towards understanding any country is to spend time there.”

This seminar, taught at University of Tokyo for three weeks and Peking University for three weeks, offers an opportunity to understand contemporary Japanese and Chinese societies through lectures, readings, discussions, and field trips tours in both Japan and China.

In the six weeks, we will cover six important topics in six modules. For each module, we will have a combination of a lecture, a guest lecture (if available), readings, student presentations, class discussions, and onsite tours.

An underlying philosophy for this seminar is that understanding contemporary Japanese and Chinese societies should require one to take into account historical, cultural, political and economic context. We expect all students to be open-minded and enjoy an intellectual, as well as a physical, investment in understanding contemporary Japan and China.

### Week 1 (June 17-June 21)

Overview of contemporary Japan: post-WWII history, education and labor force, social and economic stratification, gender, youth

Guest lecture June 18: Prof. Takashi Yamamoto (Takushoku University, Princeton alum), *The Japanese Economy*

### Week 2 (June 24-June 28)

Demography in Japan and East Asia: low fertility and aging, marriage and family, theoretical frameworks, geographic mobility/rural depopulation)

### Week 3 (July 1-July 4)

Issues in Japan: economic stagnation, climate change, natural disasters, international relations, Japan-China relations

Guest lecture July 1: Prof. Takuma Kamada (Osaka University), *Organized Crime in Japan*

Guest lecture July 3: Prof. Kenneth McElwain (University of Tokyo, Princeton Alum), *Japanese Politics*